

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

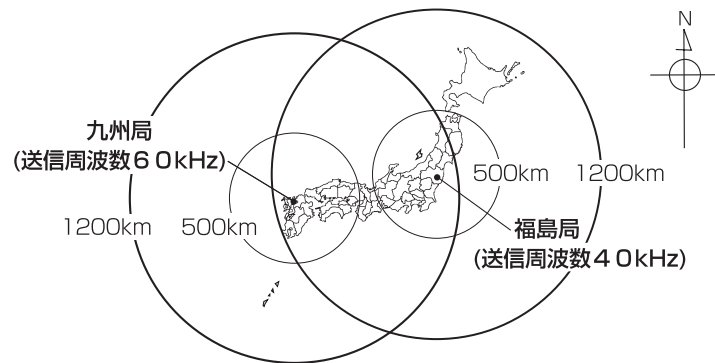
標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させてください。[3. 電波受信機能のON/OFF操作]参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ビルの地下など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



家電製品やOA機器の近く、又はスチール机等の金属製家具の上や近く



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。



朝夕の時間帯、雨天のとき

ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



禁止

この表示は、してはけない「禁止」内容です。



警告

小さな部品は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について



注意

- 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れてしないでください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

CITIZEN

電波時計 (電子音目覚まし時計) 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に合わせます

アラームは合わせた時刻にピッタリと鳴ります
(ジャストアラーム)

アラーム音の鳴り方が128通りで変化します

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

取扱説明書番号 E131-CXXX
CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

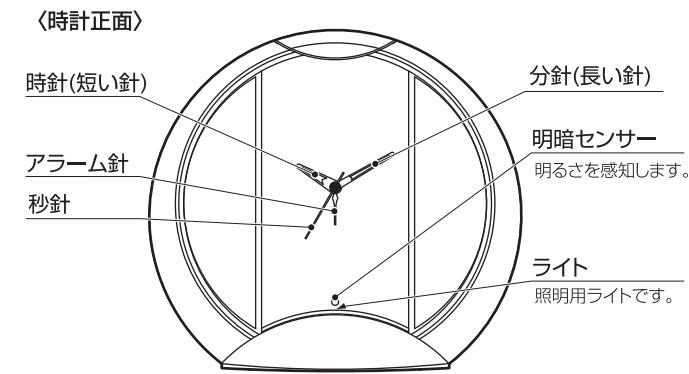
アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面等に表示してある製品番号をお伝えください。

お問い合わせ先

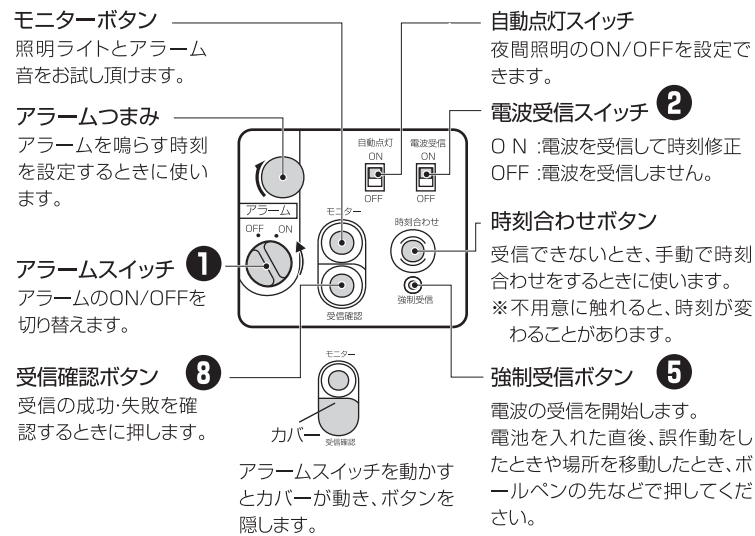
■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005
受付時間 9:00~17:45
(土日、祝日および当社休日を除く)
発売元 **リズム時計工業株式会社**
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

1. 電波を受信させて時刻を合わせます

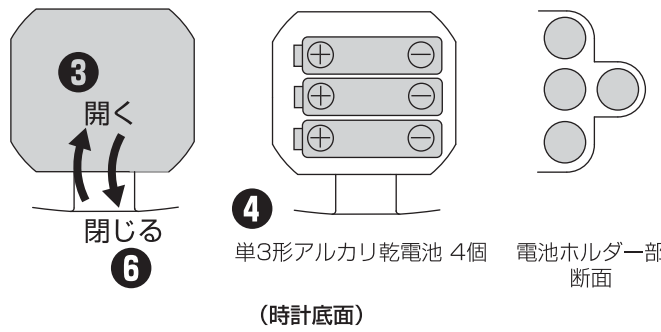
●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なる場合があります。



〈裏面操作部〉



【電池の入れ方】



電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般に、夜間は電波を受信しやすくなるので、一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置きます。次に、強制受信ボタンを押して、2~15分間そのまま待ちます。
- 手で時刻を合わせる
ベランダなど屋外で、電波の受信を成功させるか、手で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

- 1 アラームスイッチを「OFF」にする
アラームスイッチが「ON」の位置にあると、電波受信の確認ができなくなったり、電波受信後、アラームが鳴ることがあります。
- 2 電波受信スイッチを「ON」にする
- 3 電池ぶたを取り外す
※【電池の入れ方】参照。
- 4 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて乾電池を入れます。
○電池を交換するときは、すべて指定の新しい電池に交換してください。
- 5 強制受信ボタンを押す
先の細いボールペンなどで強制受信ボタンを押してください。誤作動防止のため必ず押してください。
○電池を交換したときには、強制受信ボタンを押して再受信させてください。
- 6 電池ぶたを取り付ける
- 7 受信を終了し、針が動き始めるまで待つ
およそ2分~15分後に時計・分針・秒針が早送りで時刻を指します。
○針は受信中停止しています。
○受信中は、操作ボタンには触れないでください。
- 8 受信結果を確認する
明るいところで受信確認ボタンを押します。
電波受信に成功した場合、「ブ、ブ、ブ…ピ、ピ、ピ、ポーン」と確認音が鳴ります。
確認音が鳴らない場合は、受信に失敗していますので、「電波を受信できない場合」の項をご覧ください。
○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
○受信に成功しているのに、表示されている時刻がテレビや電話の時報サービスと異なる場合は、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

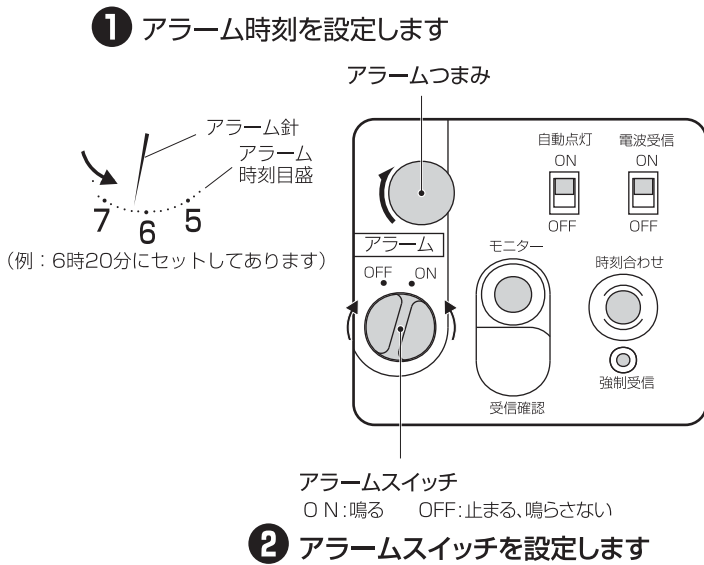
電波受信確認音機能について(ジャストセッティング時報機能)
24時間以内に受信している場合、明るいところで受信確認ボタンを押すと、「ブ、ブ、ブ…ピ、ピ、ピ、ポーン」と確認音が鳴ります。また、腕時計などの正確な時刻合わせにも活用できます。
※「ポーン」の音は毎0、10、20、30、40、50秒に鳴ります。

時刻を手動で合わせる方法

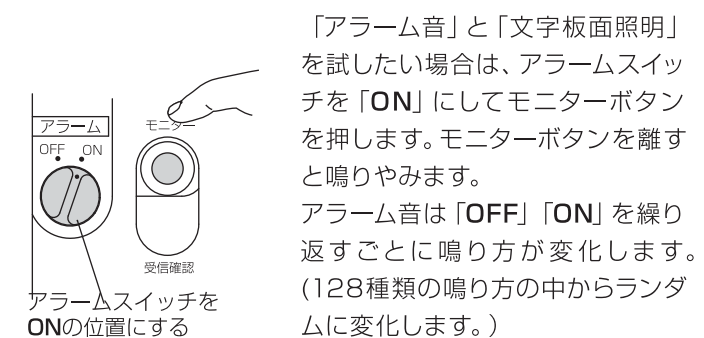
標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。
※手で時刻を合わせても、電波受信スイッチが「ON」の場合、電波の受信に成功すると時刻を修正します。
※針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。
時刻合わせボタンを押すと、時・分針の修正モードに入り、時計・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けた場合は、早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になると停止し、時計と分針は動き続けます。

秒針の動きについて
「時刻合わせボタン」を離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。このとき秒針が12時位置に止まっていない場合は、秒針を早送りで現在時刻の秒位置に移動します。

2. アラーム(目覚まし)の使い方



アラーム音の試聴と照明モニター



- ※モニターボタンを押している間、照明が点灯しアラーム音が鳴ります。
- ※モニター時の照明は明るいところで確認できるように、自動点灯時より明るく光るようになっています。
- ※電波受信中はこの機能は使用できません。

アラームつまみを回してアラーム音を確認する方法

アラームつまみを回してアラーム音を確認するには、次のいずれかの方法があります。

- ①アラームスイッチを「OFF」にし、アラームつまみを回して、アラーム針を時計が指している時刻に合せ、アラームスイッチを「ON」にしてください。
※アラームスイッチが「ON」の状態、アラームつまみを回して時計が指している時刻に合せた場合は鳴りません。この場合、一度アラームスイッチを「OFF」にし、その後「ON」にしてください。
- ②アラームスイッチを「ON」にし、アラーム時刻を時計が指している時刻より約20分程度進んだ時刻に合せれば、その時刻に鳴ります。

- 1 アラーム時刻を合わせる
アラームつまみを必ず矢印の方向に回し、アラーム針をアラーム時刻に合わせてみます。
●アラーム時刻は10分単位で設定できます。
●アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなる場合があります。
●文字板のデザインにより、アラーム時刻目盛のないタイプもあります。
- 2 アラームスイッチを設定する
アラームスイッチを「ON」にすると、合わせた時刻にアラームが鳴ります。アラームを止めるとき、または鳴らさないときには「OFF」にします。

アラームオートストップ機能について

アラームは、約5分間鳴り続けて自動的に止まります。
●アラームスイッチを「ON」にしたままでは、毎日午前と午後の2回、アラームが鳴りますので、使用しないときは、「OFF」にしてください。

アラーム音について

アラーム音は全部で128通りありますので、鳴るごとにランダム(いろいろ)に変化します。また、128通りそれぞれが4段階で変化しながら鳴ります。

3. 電波受信機能のON/OFF操作

電波受信スイッチを「OFF」にしますと、電波の受信を行わないで、クォーツ精度で時刻を表示します。受信できない、誤受信しやすい場所で使用する、意図的に表示時刻を変えてお使いになる場合などのときには「OFF」にします。
●受信に成功した状態で電波受信スイッチを「OFF」にすると、24時間以内は、受信確認をすると「受信成功」を意味する電子音が鳴ることがあります。
●「OFF」のときは、「ON」のときと同様に、電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときに、時分針および秒針が停止または早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

4. 電池の交換時期お知らせ機能

電池電圧が低下すると、電池の交換を促すために、アラームスイッチを「ON」にしたとき、電子音で「ピー・ピー」と警告しますので、すべて指定の新しい電池に交換してください。
初めて警告音が鳴りだしたときより、1ヵ月程度は正常に動きますが、ご使用状態によりこの期間は前後します。
お早めの電池交換をお勧めいたします。
※この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」は使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの障害を生じることがあります。

5. 文字板面の照明

自動点灯スイッチを「ON」にすると明暗センサーと連動し暗くなると文字板面を照明します。
※電波の受信をしているときは消灯します。
※モニターボタンを押している間はより明るく照明します。

6. 明暗センサー

この時計には、センサーにより光を感知し暗くなると秒針を12時位置で停止させますので、夜間の気になる音がしなくなります。また、自動点灯スイッチが「ON」のとき、暗くなると自動的に文字板面を照明します。
このセンサーは、時計を設置した場所の明るさで動くため、昼間や夜間照明時でも設置場所の光量不足により、センサーが反応することがあります。
※自動停止している間も時・分針は正しい時刻を示しています。
※明るくなると再び秒針が正しい時刻に早送りして復帰します。